

高教組通信

4

2013年5月23日
兵庫高教組書記局

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>

E-mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

もう一つの橋下暴言 市職員の性犯罪増加は性風俗で対応

日本維新の会共同代表の橋下氏による日本軍「慰安婦」問題での暴言に対して内外から抗議が殺到しています。しかし、橋下氏の暴言は過去の日本軍「慰安婦」問題にとどまりません。在日米軍に「風俗の活用」を求めたことは広く知られています。しかし市職員への性風俗活用発言はあまり取り上げられることはありませんでした。

市職員にも性風俗の活用をアドバイス

橋下氏は日本軍「慰安婦」問題で抗議が殺到する中、急きょ大阪市役所内で囲み取材に応じました(15日)。退庁時の囲み取材で、市職員によるわいせつ事案が増えた場合には性風俗の活用奨励も議論の対象に「なりうる」と発言しました。その際「何の罪もない人のところに行くぐらいなら、認められる範囲内で対応しなさいというのが本来のアドバイスだ。ほかのアドバイスがあるのか」と言い放ったのです。

市立高校の教職員がセクハラ事件を起こした場合には、「指導として性風俗をすすめる。これ以外の方法があるのか」と言っているに等しい発言です。このような人物が「教育委員会が教育をだめにしている。市長が教育に介入できるようにする」と教育委員会改革を主張しているは許しがたいことです。

米軍に対して性風俗の活用を提言

米軍に対する性風俗活用の提言(14日記者会見)は、米国国防省から「問題解決の方法として(風俗利用を)検討するのはばかげている」と抗議されニュースでも報道されたことから広く国民に知られています。この記者会見は、抗議が殺到する前の発言のためいつもの調子で得意げに語り、橋下氏の本音がよくあらわれています。記者会見の内容の要点は下記の次の通りです。

「慰安婦制度じゃなくても、風俗業っていうものは必要だと思う。だから沖縄の海兵隊・普天間に行ったとき、司令官に『もっと風俗業を活用してほしい』と言った。司令官は凍り付いたように苦笑いになって『米軍ではオフリミッツ(出入り禁止)

だ』と。(ぼくは)『そんな建前みたいなことを言うからおかしくなるんですよ。法律の範囲内で認められている中で、いわゆるそういう性的なエネルギーを合法的に解消できる場所は日本にあるわけだから、もっと真正面からそういう所を活用してもらわないと、海兵隊の猛者の性的なエネルギーをきちんとコントロールできない』と言った。(司令官からは)『行くなと通達を出しているし、これ以上この話はやめよう』と打ち切られた。兵士なんていうのは、命を落とすかも分からない極限の状況まで追い込まれるような任務のわけで、どっかで発散するか、そういうことはしっかり考えないといけない。建前論ばかりでは人間社会は回らない。」。

在日米軍に「性風俗の活用」を提言するということは、「性風俗利用を米国政府の正式施策にせよ。場合によっては費用も税金で出せ」ということを意味します。米国政府報道官が「無礼な発言」と怒りをあらわにしたのも当然のことです。

自衛隊を戦闘に派兵する時には慰安婦施設を設置するのか

橋下氏は発言を批判された時には開き直り論点をすり替えた上で相手を徹底攻撃し、国民の敵に仕立てる手法を常としてきました。その際マスコミを利用することも忘れませんでした。しかし、今回はあまりにも時代錯誤・非常識な発言の数々でいつもの開き直りも不発に終わったようです。橋下氏がどのように弁明、開き直ろうが戦前の「慰安婦」制度を擁護し、人権を踏みにじる発言を繰り返していることには議論の余地はありません。

維新の会は、集団的自衛権を認め自衛隊を戦争する軍隊に、そして憲法9条を変え日本を戦争する国家に変えることを公然と主張しています。今回の橋下発言をふまえ、維新の会は7月の参議院選挙の公約にこう掲げるべきです。「自衛隊を戦場に派兵し、戦闘行為を行う場合には法律で認められた風俗を兵舎に設置するものとする」と。

橋下氏はどの国の軍隊も日本軍「慰安婦」のような組織を持っていたと主張します。しかし、第二次大戦においてそのような施設を持っていたのは日本とナチス・ドイツのみです。もし、ナチス・ドイツに抵抗したレジスタンスが、またベトナム戦争時の解放戦線がこのような組織を持っていたとしたら抵抗運動は大義を失い解放戦争は勝利しなかったでしょう。侵略の側に立つ者のみが橋下氏のような発言を平気でできるのです。

安倍政権が橋下氏の暴言の背景に

安倍首相は、橋下氏が昨年8月「河野談話」に対して「強制の事実には確たる証拠はない」と発言したことに対し「私は大変勇気ある発言だと高く評価している。彼はその発言の根拠として、安倍内閣の閣議決定を引用した。戦いにおける同志だと認識している。」(2012年8月28日)と述べその後も同様の発言を繰り返してきました。また、橋下氏が「安倍首相は、どんどん輝いてきましたね」(3月30日党大会)と安倍首相を絶賛したのも記憶に新しいところです。そして、当然のことかもしれませんが安倍首相は今回の橋下氏の暴言を一言も批判していません。

韓国の東亜日報が「日本の最高指導者である総理が侵略を否定して以降、保守勢力がはばかることなく本音を明らかにしている。安倍総理がいる限り、政治家の妄言は続くであろう」と指摘しましたがその通りでしょう。反ファシズム諸国が日本、ドイツ、イタリアなどの不正義の侵略戦争に勝利したことによって戦後の世界秩序は成立しました。この事実を受け入れず、戦後世界秩序の変更を求める安倍政権に日本の未来を託すことは、日本国民がアジアで、そして世界の中で生きていく場を失うことを意味します。絶対に許してはならないことです。